

令和 6 年 6 月 18 日

令和 5 年度 鹿島山北高等学校の運営・評価について

山北町教育委員会
教育特区推進室

令和 5 年度 鹿島山北高等学校の運営・評価について以下のとおり報告する。

- 1 学校の教育・運営に係る評価について
- 2 地域貢献について
- 3 町事業への支援体制について
- 4 その他
- 5 全体評価

- 1 昨年度に引き続き、生徒が山北町まで登校する従来通りの宿泊スクーリング（3泊4日）を実施した。スクーリングは、高校卒業資格を取得すること、学力を培うことは当然として、「宿泊」を伴うことから、基本的な生活習慣を身に付ける、公德心を持つ、或いは、改めて認識する良い機会であるが、生徒諸君からも好評である。特に、学校設定科目である山北町に係る種々の講座は、山北町の自然も体感することができたとのことで好評であった。また、集中して受講できることによる時間的なメリットも大きいとの声も多かった。このことを、保護者の声も含めて、さらに積極的に広報し、生徒募集に繋げてほしい。
経営面では、早い時期に継続的に黒字化（常に在籍人数 600 名以上。単年度純利益約 1500 万円以上 ※9 期は通期で概ね 470 名余が在籍。募集定員 1200 名を満たすと、単年度純利益は 3000 万円以上を見越せる。）し、人材の採用、施設・設備、教材・教具の充実化がより図られることを期待する。
- 2 令和 5 年度は、スクーリング参加人数が戻り、宿泊施設をはじめ関係各所の利益に貢献できたものとする。学校設定科目の山北町に関する講座は、図らずも国全体の問題が集約されている。農業・林業・観光・介護福祉は、いずれも短・中・長期的且つ複合的な問題でもある。生徒諸君にとって、スクーリングが契機となり、将来的に山北町に居住し、各分野で就労し、リーダーシップを取ってくれることが地域及び広く社会貢献になると考える。その意味で、より魅力的で、生徒諸君の創造力が刺激されるような講座の開講に努めてほしい。
- 3 令和 5 年度は、町事業は例年通り開催され、内外から多くの参加者等で賑わった。鹿島山北高等学校の場合、全日制と異なり、近隣在住の生徒が少ない。加えて、町行事とスクーリングの日程が重なった場合、スクーリングを優先せざるを得ない。昨年に引き続き、生徒が個人的に町事業に積極的且つ継続的に参加できる体制づくりや広報を進められ、活気のある山北町を見てもらいたい。加えて、町の施策パンフレット等を置いていただき、町の生活をイメージできるように広報してほしい。
- 4 「人生 100 年時代の社会人基礎力」とは、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の 3 つ能力から構成されており、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、経済産業省が提唱している。大切なことだと考える。鹿島山北高等学校の教育が、学力だけでなく、基本的な生活習慣を身に付け、公德心、「社会人基礎力」を持ち、社会に貢献できる有能な人材を育成する場として広く認知され、志願者が増えることを大いに期待する。

令和5年度 鹿島山北高等学校 教育特区推進室評価表

1/3

項 目		評 価 基 準	評 価	備 考 及 び 改 善 目 標
教育課程・ 学習指導	授業等の状況	生徒の興味・関心を尊重した授業の進め方と学級経営	B	1コマ50分の短い時間ではあるが、より山北町の特徴を活かし、教科を横断した内容も取り入れ、創意工夫を続けてほしい。
		体験学習の実施と地域の人材活用	B	体験学習のプログラムも7年が経過し、ある程度固まってきた感があるが、地域の方々とも話し合い、広く人材の活用を続けてほしい。
		学習指導要領の遵守と地域特性の活用	B	学習指導要領は遵守されている。それに基づき、さらなる地域特性の活用を期待する。
	教育課程等の状況	体験学習、学校行事などの管理・実施体制	B	危険性を伴う体験学習については、常に安全性を考え、管理・運営をしてほしい。
		年間指導計画の編成及び適正な時間割	A	
		補充的学習時間の設定及び発展的学習の実施	B	学校に来れる生徒以外の補習は通信教育になる。充実した添削を期待する。発展的学習は、山北町の特徴を中心に検討を加えていくことを期待。
キャリア教育	組織的、計画的にキャリア教育に取り組む体制	B	鹿島学園のキャリア・サポード室とも連携して取り組んでいる。山北町でキャリアを積んでいける繋がりができるようになることを期待している。	
	生徒の学籍台帳及び成績台帳等の個人的資料の管理	A		
	社会的・職業的自立のための体系的・系統的な指導	B	学習支援施設とも密に連携し、進路決定率が100%に近づくことを目指してほしい。	
	保護者や地域社会との連携協力の状況	B	保護者との連携協力は、オンラインが主となるか、できれば現場での協力関係を作ってほしい。引き続き、山北町とは、連携協力の深化を期待する。	
	職場体験活動や就業体験活動の状況	B	自立のための体験であるので、幅広く、良い事業所を設定してほしい。	
生徒指導	生徒指導の状況	緻密な生徒指導の体制	B	カウンセリングは全教員が対応していることは素晴らしい。進路指導において100%を目指してほしい。
		出席、遅刻・早退のデータ管理と指導体制	A	データ管理面で問題はない。指導体制も個々の生徒を注視して、対応している。
	人格的発達のための指導	基本的な生活習慣を身につけさせる工夫	B	スクーリング時にしか対応できないのが難しいところだが、さらに徹底してほしい。
		社会人としての勤労、公德心意識等の指導の状況	B	これができていれば、進路決定率が100%ちかくなるはず。さらなる指導をお願いしたい。
保健管理		地域の保健・医療機関等との連携の状況	A	学校医は南足柄医師会の紹介。歯科医、薬剤師は山北町在住であり、連携状況は良いといえる。
		健康管理と健康診断の実施の状況	C	学習等支援施設とも密に連携し、年1回の健康診断の受診を徹底してほしい。

項 目		評 価 基 準	評 価	備 考 及 び 改 善 目 標
安全管理		学校事故等の緊急事態発生時の対応	A	年1回の抜き打ちの避難訓練、AEDの講習会を実施しているので、落ち着いて対応できるものとする。
		危機管理マニュアル等の作成・活用の状況	A	
組織運営		校務分掌等の機能性と運営・責任体制の整備	B	退職職員の補充に伴い、以前に比して、若干の連携不足があった。
		計画・執行・決算・監査に至る財務運営の状況	B	財務面での早期及び継続的な黒字化を期待する。
		職専免研修の承認状況、服務監督の状況	B	会社の財務状況から人員を増やせないことによって、研修を受講する時間的な余裕が取れていない。早く人員が増やせるように。
		各種文書や個人情報等の管理の状況	A	
資質向上の取組		校内研修・校外研修の実施・参加状況	B	早くに財務が余裕ができ、人員が増え、個人に十分な時間的な余裕が生まれることを期待する。
		授業改善の取組の状況	B	時間的な余裕がないことは理解しているが、例えば予備校の授業を見学するなどして、ブラッシュアップしてほしい。
教育目標・ 学校評価	教育目標の設定と 自己評価の実施	自己評価の実施と改善の状況	B	自己を客観的に理解し、日々改善にいそしんでほしい。
		学校の状況を踏まえた教育目標の設定の状況	B	ゴールのない永遠の課題である。高い理想を掲げ、実現に向けて努力してほしい。
	学校関係者評価の 実施状況	第三者評価の実施状況	A	
		第三者評価の結果の設置者への報告の状況	A	
	生徒・保護者の意見・ 要望等の状況	教育相談体制の整備状況	B	カウンセリング研修を受けた職員がいることを生徒・保護者に伝えてほしい。
		生徒・保護者の授業満足度等の評価把握の状況	B	アンケートの結果を講師にフィードバックしてほしい。
情報提供		学校に関する情報の提供状況	B	学校の「生」の情報が少ないと思う。教職員、講師、生徒、保護者、山北町の方々に取材して、広く情報を提供してほしい。
		学校評価結果の公表状況	A	
		情報提供手段の工夫とホームページの活用	B	ホームページ、インスタグラム、YouTubeのツールは使っているが、年間通してもっと情報提供をしてほしい。

項 目		評 価 基 準	評 価	備 考 及 び 改 善 目 標
保護者、地域住民等との連携		地域の自然や文化財、伝統行事などの教育資源の活用状況	B	山北町の文化財や伝統行事をさらに活用してほしい。
		授業等における地域の人材など外部人材の活用状況	B	今後も柔軟に且つ広く地域の人材を活用してほしい。
教育環境の整備	施設・設備	施設・設備の活用状況	B	旧小学校校舎の更なる有効活用を期待する。
		設置者と連携した施設・設備の点検、整備の状況	B	
	教材・教具等	設置者と連携した教材・教具・図書の整備、充実	B	更なる拡充を期待する。

1. 「A＝良好である」「B＝特筆すべき改善点はない」「C＝改善すべき点が見受けられる」

最終的に教育長及び教育特区推進室で取りまとめた。

2. 上記評価は、令和5年4月1日～令和6年3月31日までの1年間を対象としている。